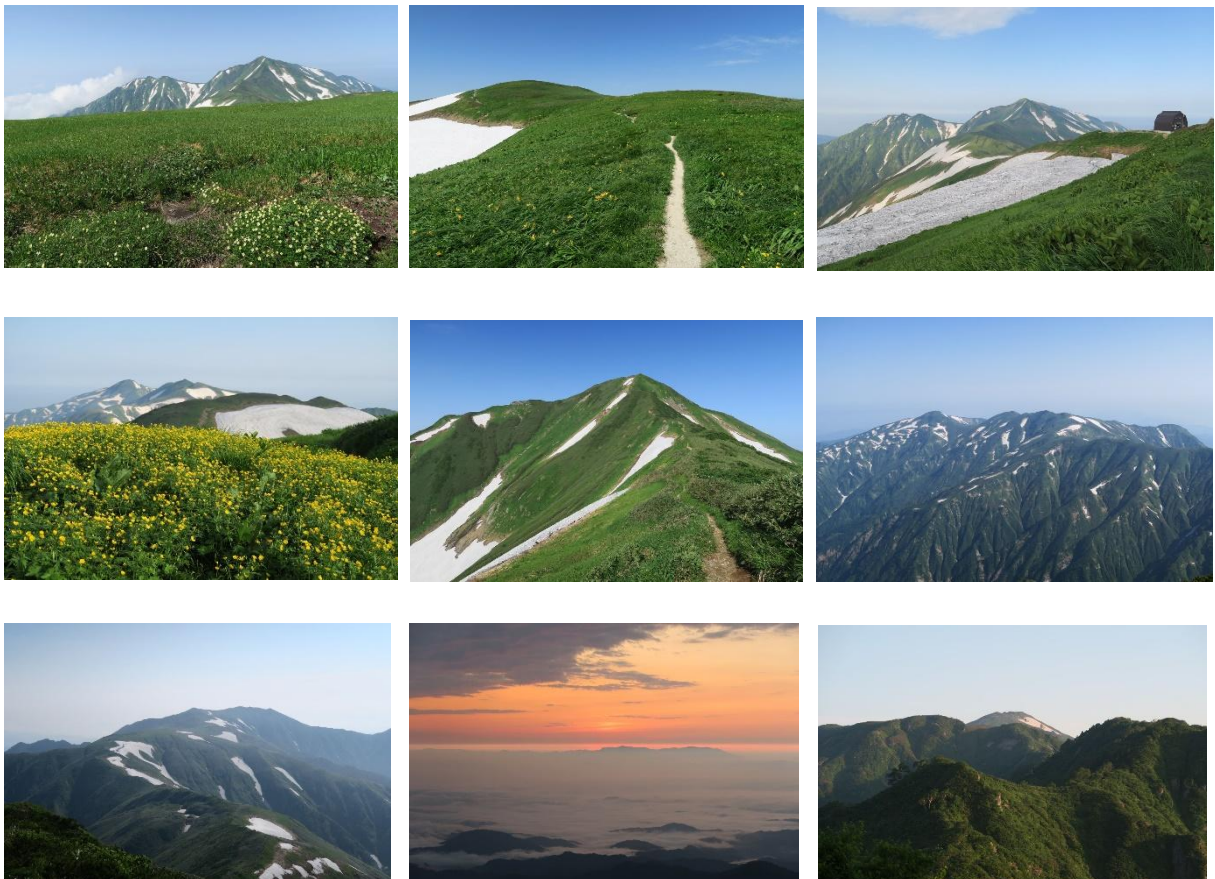


個人山行 飯 豊 山

2017年7月18～21日（火～金） 岡本（単独）

漸く天候に恵まれ飯豊山へ行く。コースは、弥平四郎登山口～三国岳～切合小屋～本山小屋（泊）～御西小屋・大日岳～本山小屋～切合小屋～三国小屋（泊）～弥平四郎登山口。登山口から松平峠までは樹林帯の長い登り道、峠から稜線までは展望はあるが厳しい登り。稜線から三国岳までは展望もあり、然程きつくない登山道。三国小屋から切合小屋まで、前半は少し険しいアップダウンの道。雪渓を2箇所ほど横切ると開けた斜面に切合小屋がある。ここが尾根で唯一の水場だ。4Lほど水を補給。そこから、緩斜面の少し長い雪渓を登り、少し下ったところから飯豊本山まできつい登りが続く。本山小屋で素泊まり。

翌日、本山小屋から大日岳をピストン。本山～御西小屋～大日岳の稜線ルートは高山植物と雪渓のコントラストが実に美しい、本当に気持ちの良い登山道だ。所々きつい登りはあるが、美しい景色が疲れを癒やしてくれる。本山小屋に戻り、切合小屋でまた水を4L補給し三国小屋で素泊まり。切合小屋はツアー客などもあるが、本山小屋や三国小屋は人も少なく、雰囲気の良い小屋だ。雨水の濾過水 500ml、500円だが、冷えた缶ビールもあり、夜は管理人や他の登山客と酒を飲み交わす。



（写真）

上段、稜線から大日岳（右）、気持ちの良い登山道、御西小屋と大日岳。2段目、御西小屋付近から北股岳方面、大日岳、大日岳山頂から北股岳方面。3段目、大日岳山頂から飯豊本山方面、本山小屋から蔵王方面の朝焼け、三国小屋から飯豊本山方面。